

科目名 Course Name	中国語Ⅱ Chinese II				ナンバリング No.	A2-014	
年次	1 年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	田村 眞依子						
連絡方法	C-Learning で対応。または本館 3 階研究室。オフィスアワーは火～金曜日の授業担当時間以外。						
必修／選択	選択						
関連 DP	DP6						
授業の概要と 到達目標	中国語Ⅰで身につけた基礎を土台として、日常のさまざまな場面での会話文を学習する。 ①中国語の発音がなめらかにできるようにする。 ②ネイティブの発音を聞いて、内容が理解できるようにする。 ③基礎的な短文を組み合わせて、作文を書けるようにする。 ④ネイティブとコミュニケーションがとれるようにする。						
授業の方法	教科書を中心に発音と短文作成を繰り返し行う。グループワークで会話練習に取り組む。また、音声教材やインターネット等を使用し、反転学習を行う。						
学習成果	L01	中国語の基本的な挨拶や短文を用いて、会話ができる。					
	L02						
	L03						
	L04	①中国語の滑らかな発音ができる。 ②ネイティブの会話を聞いて、内容が理解できる。					
課題に対する フィードバック	ピンインや単語の確認テストおよび平常試験は試験後に模範解答を示し、試験結果は授業内に各自にフィードバックする。						
教科書／ 参考図書	教科書『はじめよう 楽々中国語』（白水社）						
履修上の留意点 やルール等	中国語Ⅰを履修済みであること。 中国語を母語とする学生は受講できない。 私語や携帯電話の使用は禁止する。 発音練習やグループワーク等に積極的に参加をすること。 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	積極的に授業に参加している。	30			
レポート／作品					
発表	あるテーマに沿って中国語で作文を書き、発表する。				10
小テスト	前回の学習内容（ピンインや単語等）を数回確認する。1回10問前後。				20
試験	期末試験として、教科書の内容を中心に筆記試験を行う。				40
その他					
合 計		30			70

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション、中国語Ⅰの復習
	事前・事後学習	中国語Ⅰの復習
2	授業内容	第8課 形容詞の文、前置詞（～から、～まで）
	事前・事後学習	新出単語（簡体字、発音、意味）
3	授業内容	第8課 連動文
	事前・事後学習	新出単語（簡体字、発音、意味）、ドリル8
4	授業内容	第9課 手段・方法の尋ね方、値段
	事前・事後学習	新出単語（簡体字、発音、意味）
5	授業内容	第9課 比較文、比較文の否定
	事前・事後学習	新出単語（簡体字、発音、意味）、ドリル9
6	授業内容	第10課 動作の完了を表す「了」、助動詞「想」
	事前・事後学習	新出単語（簡体字、発音、意味）
7	授業内容	第10課 変化の「了」、前置詞「在」
	事前・事後学習	新出単語（簡体字、発音、意味）、ドリル10
8	授業内容	第11課 助動詞「会」と「能」
	事前・事後学習	新出単語（簡体字、発音、意味）
9	授業内容	第11課 助動詞「可以」、前置詞「給」
	事前・事後学習	新出単語（簡体字、発音、意味）、ドリル11
10	授業内容	第12課 進行形、禁止
	事前・事後学習	新出単語（簡体字、発音、意味）
11	授業内容	第12課 経験を表す言い方、「是～的」構文
	事前・事後学習	新出単語（簡体字、発音、意味）、ドリル12
12	授業内容	中国人留学生との交流
	事前・事後学習	初見の単語・表現の復習
13	授業内容	テーマを決めて作文を書く
	事前・事後学習	発表準備
14	授業内容	作文発表
	事前・事後学習	教科書の内容を再確認し、テスト対策する。
15	授業内容	総まとめ
	事前・事後学習	教科書の内容を再確認し、テスト対策する。